

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	子どもサポートひろばつむぎ	公表日	令和7年 2月 14日
------	---------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動スペースは十分確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準人員以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		活動内容によって部屋を分けています。室内については、段差解消しています。視覚支援も配慮しています。	階段などのバリアフリー化は出来ていないので、車いすの利用児の受け入れは難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		整理整頓を心掛けています。活動に合わせて、使用する部屋を変えています。(構造化)	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		特別な配慮が必要な場合は、別の部屋を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		気になる点については、職員間で話し合い、共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		開所初年度なので、これから保護者の意向を把握し、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議などで、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		現在、第三者による外部評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		資質の向上のため、必要な研修を行っています。また外部研修についても参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムは、保護者へ周知し、HPでも公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		契約時、更新時にアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画を作成する際には、児童発達支援管理者以外の職員も会議に参加し、広く意見を取り入れるようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画や1日の活動、予定なども職員間で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		連絡帳や支援記録を日々作成し、確認出来るようにしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		定期的にあセスメントを行い、保護者の意向や本人の日々の様子から、支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員会議等で、職員でアイデアを出し合い、行事や活動の内容をチームで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		戸外活動や季節の製作活動など、日々の活動と合わせて、特別な活動も盛り込んでいます。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの発達段階に応じて、個に合わせた課題を行う個別活動と、集団活動を行っています。	児発の利用人数が少ないため、集団活動は少人数になっています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		その日の支援内容や分担などについて、職員間で共有、連携しています。	送迎の都合上、打合せ時間は支援開始前には限らず、適宜行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後、その日の様子や保護者からの連絡事項などを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援記録を毎日行っています。また、連絡帳にて保護者にも共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に1回、保護者と面談の上、モニタリングを行っています。面談の際に、学校や家庭、他事業所などの様子も伺い、支援計画の見直しを行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		支援会議には、子どもと関わる機会が多い職員や保護者と面談した職員など、様子がわかる職員が参加しています。また他の職員にも様子を聞いてその内容も反馳させています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要に応じて、保健所、学校などの機関と連携して、話し合いの場を設けています。	現在、医療機関と連携が必要な事例がありませんでした。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5		現在、必要な事例がありませんでしたが、必要な場合は連携していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5		現在、情報共有が必要な事例がありませんでしたが、必要な場合は、連携していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		今まで、必要な事例がありませんでしたが、これから必要に応じて、児童発達支援センターと連携していきたいと思っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		保育園等の交流はしていません。地域の他児との交流については、地区の行事に参加しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			送迎時や連絡帳、LINE等で、状況をお伝えし、共通理解に努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			家族支援の際に必要な情報をお伝えしています。また地域で行われる研修会などの情報提供も行っていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に説明を行い、質問等があれば、お答えしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			契約時にご本人や保護者の方の意向を伺い、それに基づいた支援計画を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			保護者の方に面談して、説明を行い、同意していただいた上で署名を頂いています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			定期的に家族支援の時間を設け、相談に応じています。またそれ以外でも、必要な時には、電話、LINE、送迎時等、相談を受け付けています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		父母の会はないが、保護者やきょうだいが交流できる場として、夏祭りを開催しました。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	苦情に関する相談窓口については、契約時にご案内しています。また電話、LINEなどで迅速に対応出来る環境を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	月に1回おたよりを発行しています。また活動については、HPやインスタでも広く発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	個人情報が記載されている書類は、鍵付きの書庫に保管しています。廃棄書類については、シュレッダーを使用し、破棄しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	必要に応じて、視覚支援などを用いています。保護者とは電話だけでなく、LINEも利用して連絡出来るようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	障害の有無に関わらず、誰でも参加できるイベントを開催しました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	各マニュアルは策定し、研修も行っています。また事業所の玄関とHPにて、いつでも閲覧出来るようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	BCPは策定し、定期的に避難訓練等も行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	契約時のアセスメントで確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	医師の指示書ではないが、アセスメント時にお聞きして、アレルギーのあるものについては、提供しないように配慮しています。	現在、食物アレルギーで対応が必要な子どもはいません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	安全計画に基づいて、研修、訓練を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	非常時の対応について、文書を作成し、保護者へ周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	事案について、ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で話し合い、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	虐待防止の研修を行っています。また毎月1回、全職員対象に虐待防止のチェックを行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	重要事項説明書にも明記し、契約時に説明を行っています。		